

粒状種子実播工法

「ペレット種子」によって機械施工が困難な山岳荒廃地を緑化する工法です。

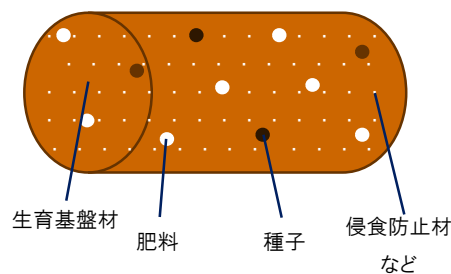
ペレット種子とは

- 生育基盤材、肥料、種子などの材料を混合・粒状加工し、乾燥させた緑化資材です。
- そのまま施工地に散布できます。
- 保水性・保肥性に優れ、導入植物の良好な生育を促します。



工法の特長

- ◆ ペレット種子は軽量なため人力施工が容易
- ◆ 車両によるアプローチや機械施工が難しい現場に適用可能
- ◆ ヘリコプター等を使用した航空実播工にも適用可能



施工前



粒状種子実播工法によって自然回復した荒廃溪流（施工6年4ヵ月後）

施工手順

- ペレット種子を施工地まで運搬した後、区画割工を行い、1m²あたり約270g※のペレット種子を播種します。
※ 1m²あたりの播種量は270gを標準とし、播種前の重量を基に補正します。

①人力運搬工



②区画割工



③粒状種子実播工



適用可能な植物の例

ハゼノキ



ヌルデ



メドハギ



バミューダグラス



※その他の植物種についてはお問い合わせください

